

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年1月15日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ホギメディカル
 コード番号 3593 URL <http://www.hogy.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日

(氏名) 保木 潤一
 (氏名) 高橋 一夫
 配当支払開始予定日

TEL 03-6229-1300
 平成22年2月26日

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	23,906	1.4	6,241	8.7	6,258	8.1	3,836	36.9
21年3月期第3四半期	23,583	—	5,740	—	5,789	—	2,803	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	246.88	—
21年3月期第3四半期	186.46	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	66,647	57,861	86.5	3,665.82
21年3月期	61,941	51,505	83.1	3,425.71

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 57,667百万円 21年3月期 51,493百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	23.00	23.00	23.00	23.00	92.00
22年3月期	23.00	23.00	23.00		
22年3月期 (予想)				23.00	92.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,200	0.6	7,950	6.0	7,960	4.4	4,800	33.9	305.13

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの
- | | |
|-----------------|---|
| ① 会計基準等の改正に伴う変更 | 無 |
| ② ①以外の変更 | 無 |
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- | | | | | |
|----------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 22年3月期第3四半期 | 16,341,155株 | 21年3月期 | 16,341,155株 |
| ② 期末自己株式数 | 22年3月期第3四半期 | 610,032株 | 21年3月期 | 1,309,568株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 22年3月期第3四半期 | 15,537,908株 | 21年3月期第3四半期 | 15,032,473株 |

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

平成21年4月13日発表の通期業績予想を修正いたしました。上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項につきましては、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第 3 四半期連結累計期間におけるわが国経済は、景気の悪化に底打ちの兆しが見られるとの一部観測はあるものの、引き続き世界的な金融・経済危機による景気停滞、急激な為替変動が企業収益へ影響を及ぼすとともに雇用・所得環境にも改善が見られずデフレ圧力が強まるなど、依然として厳しい状況が続いております。

当医療機器業界におきましては、2000 年以來 10 年ぶりに診療報酬全体では 0.19%の引き上げが見込まれるものの、引き続き厳しい経営環境が続いております。医療機器業界を取り巻く各企業は、より一層の経営の効率化・合理化が求められる状況となっております。

このような環境の下、当第 3 四半期連結累計期間において、国内の売上高は第 2 四半期まで順調に推移しておりましたが、第 3 四半期（特に 12 月）に入り低調に推移いたしました。また、連結子会社の一部事業を 7 月に売却したことから、その他売上高が減少しております。しかし、手術用品類の医療用キット製品の売上高は、製品・物流・情報管理からなる「オペラマスター」を中心に売上高を伸ばし、第 3 四半期において、8 件の医療機関と契約を結び 1 件の解約を出しました。契約いただいた医療機関は手術件数が多く、今後の売上高増加が見込まれます。

売上原価は、製造量増加による生産性の改善等により原価率は前年同期に比べ改善いたしました。販売費及び一般管理費は効率的な経費使用に注力し、計画内の金額に収めることができました。

営業外費用においては、為替差損が 74 百万円発生いたしました。

また、特別損益におきましては、前第 3 四半期連結累計期間に投資有価証券の評価損 1,123 百万円を計上しておりましたことから、前年同期から大きく改善いたしました。

この結果、当第 3 四半期連結累計期間の連結売上高は 23,906 百万円（前年同期比 1.4%増）、連結営業利益は 6,241 百万円（同 8.7%増）、連結経常利益は 6,258 百万円（同 8.1%増）、連結四半期純利益は 3,836 百万円（同 36.9%増）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第 3 四半期連結会計期間末の総資産は 66,647 百万円となり、前連結会計年度末に比べ 4,706 百万円増加いたしました。流動資産は 31,786 百万円となり、3,670 百万円増加いたしました。主な要因は、自己株式の処分や営業活動に伴う現金及び預金の増加（2,727 百万円）、受取手形及び売掛金の増加（1,158 百万円）等です。固定資産は 34,861 百万円となり、1,035 百万円増加いたしました。有形固定資産は、主に新電子線滅菌機関連の設備投資により 30,106 百万円となり、1,032 百万円増加いたしました。無形固定資産は 603 百万円（100 百万円増）、投資その他の資産は 4,152 百万円（98 百万円減）となりました。

当第 3 四半期連結会計期間末の負債合計は 8,966 百万円となり、前連結会計年度末に比べ 1,469 百万円減少いたしました。流動負債は 7,150 百万円となり、77 百万円減少いたしました。主な要因は、支払手形及び買掛金の減少（255 百万円）、未払法人税等の増加、賞与引当金の減少等です。固定負債は 1,816 百万円となり、1,392 百万円減少いたしました。主な要因は、長期借入金の返済（925 百万円）等です。

当第 3 四半期連結会計期間末の純資産の部は 57,681 百万円となり、前連結会計年度末に比べ 6,175 百万円増加いたしました。主な要因は、自己株式の処分による増加（3,183 百万円）や当四半期純利益（3,836 百万円）の計上による増加、剰余金の配当（1,069 百万円）等による減少です。この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の 83.1%から 86.5%となりました。

（キャッシュ・フローについて）

当第 3 四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物は、以下に記載のキャッシュ・フローにより 14,869 百万円の収入となり、前連結会計年度末に比べ 2,687 百万円増加いたしました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益を 6,337 百万円、減価償却費を 1,891 百万円計上する一方、法人税等の支払い 2,201 百万円、売上債権の増加 1,163 百万円等がありました。この結果、キャッシュ・フローは 4,549 百万円の収入となり、前年同期に比べ 1,660 百万円増加いたしました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、主に新電子線滅菌機関連の有形固定資産の取得等により 3,044 百万円の支出となり、前年同期に比べ 1,532 百万円支出が増加いたしました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、当第 1 四半期において、自己株式の処分による株式の売出を実施し、3,183 百万円を調達する一方、長期借入金の返済や配当金の支払い等がありました。この結果、1,187 百万円の収入となりました。(前年同期は 1,921 百万円の支出)

通期のキャッシュ・フローにつきましては、営業活動によるキャッシュ・フローは、業績を反映し約 6,000 百万円の収入を予想しております。投資活動によるキャッシュ・フローは、主に新電子線滅菌機関連の取得費用の支払い等により約 3,500 百万円の支出を見込んでおります。財務活動によるキャッシュ・フローは、当第 1 四半期において、自己株式の処分により 3,183 百万円を調達する一方、配当金の支払いや借入金の返済等により約 2,500 百万円の支出を見込んでおり、この結果、約 700 百万円の収入を見込んでおります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

最近の業績動向を踏まえ、平成 21 年 4 月 13 日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたします。

平成 22 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	32,600	8,590	8,710	5,210	331 19
今回発表予想 (B)	31,200	7,950	7,960	4,800	305 13
増減額 (B - A)	△1,400	△640	△750	△410	—
増減率 (%)	△4.3%	△7.5%	△8.6%	△7.9%	—
前期実績	31,009	7,501	7,627	3,584	238 47

当第 3 四半期連結累計期間において、売上高は第 2 四半期まで順調に推移しておりましたが、第 3 四半期 (特に 12 月) に入り、売上高が低調に推移いたしました。12 月の業績を勘案し、通期見直しを変更いたしました。

当社グループは現況の厳しい経済状況に対応するため、新たな短期戦略を迅速に実施を進めてまいります。また、「オペラマスター」は、手術件数の多い医療機関との契約が進み引き続き成長が見込まれます。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 棚卸資産の評価方法

棚卸高については前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎とする方法で算定し、また収益性の低下が明確なものについてのみ見積正味売却価額まで切下げる方法によっております。

② 法人税等の計上基準

法定実効税率をベースとした年間予測税率により計算しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,228	12,501
受取手形及び売掛金	10,255	9,096
商品及び製品	3,097	3,151
仕掛品	299	351
原材料及び貯蔵品	2,134	2,252
その他	774	763
貸倒引当金	△3	△1
流動資産合計	31,786	28,115
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	12,544	12,360
機械装置及び運搬具(純額)	5,179	5,532
土地	9,403	7,684
建設仮勘定	2,653	3,128
その他(純額)	325	366
有形固定資産合計	30,106	29,073
無形固定資産	603	502
投資その他の資産	4,152	4,250
固定資産合計	34,861	33,826
資産合計	66,647	61,941
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,438	3,694
1年内返済予定の長期借入金	1,000	1,000
未払法人税等	1,314	841
引当金	198	568
その他	1,198	1,122
流動負債合計	7,150	7,227
固定負債		
長期借入金	1,000	1,925
引当金	27	417
負ののれん	—	97
その他	789	768
固定負債合計	1,816	3,208
負債合計	8,966	10,436

(単位:百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,123	7,123
資本剰余金	8,336	8,336
利益剰余金	45,875	43,725
自己株式	△3,312	△7,110
株主資本合計	58,022	52,074
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	333	△16
繰延ヘッジ損益	62	227
為替換算調整勘定	△750	△790
評価・換算差額等合計	△354	△580
少数株主持分	13	11
純資産合計	57,681	51,505
負債純資産合計	66,647	61,941

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
売上高	23,583	23,906
売上原価	11,740	11,519
売上総利益	11,843	12,387
販売費及び一般管理費	6,103	6,145
営業利益	5,740	6,241
営業外収益		
受取利息	5	5
受取配当金	53	44
負ののれん償却額	20	13
助成金収入	36	31
その他	48	35
営業外収益合計	164	130
営業外費用		
支払利息	39	27
為替差損	72	74
その他	3	11
営業外費用合計	115	113
経常利益	5,789	6,258
特別利益		
貸倒引当金戻入額	9	—
固定資産売却益	1	4
負ののれん一括償却額	—	83
特別利益合計	10	88
特別損失		
固定資産売却損	0	1
固定資産廃棄損	2	8
投資有価証券評価損	1,123	—
特別損失合計	1,125	9
税金等調整前四半期純利益	4,674	6,337
法人税等	1,870	2,499
少数株主利益	1	1
四半期純利益	2,803	3,836

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,674	6,337
減価償却費	2,227	1,891
負ののれん償却額	△20	△97
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△3	11
受取利息及び受取配当金	△58	△49
支払利息	39	27
為替差損益 (△は益)	71	89
投資有価証券評価損益 (△は益)	1,123	—
有形固定資産売却損益 (△は益)	△1	△3
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,725	△1,163
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△217	210
仕入債務の増減額 (△は減少)	211	△297
その他	△355	△222
小計	5,963	6,734
利息及び配当金の受取額	58	49
利息の支払額	△47	△34
法人税等の支払額	△3,086	△2,201
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,888	4,549
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,437	△2,872
有形固定資産の売却による収入	3	24
貸付けによる支出	△9	△7
貸付金の回収による収入	15	7
その他	△83	△195
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,511	△3,044
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△925	△925
自己株式の売却による収入	0	3,183
自己株式の取得による支出	△6	△2
配当金の支払額	△990	△1,068
その他	—	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,921	1,187
現金及び現金同等物に係る換算差額	△17	△5
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△562	2,687
現金及び現金同等物の期首残高	10,838	12,182
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,276	14,869

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第 3 四半期連結累計期間（自平成 20 年 4 月 1 日 至平成 20 年 12 月 31 日）及び当第 3 四半期連結累計期間（自平成 21 年 4 月 1 日 至平成 21 年 12 月 31 日）

当社及び連結子会社の事業は、医療用消耗品等の製造・販売並びにこれらの付随業務の単一事業であります。従いまして、開示対象となるセグメントはありませんので、記載は省略しております。

【所在地別セグメント情報】

前第 3 四半期連結累計期間（自平成 20 年 4 月 1 日 至平成 20 年 12 月 31 日）

(単位：百万円)

	日本	インドネシア	計	消去又は全社	連結
売 上 高					
(1) 外部顧客に対する売上高	23,034	548	23,583	—	23,583
(2) セグメント間の内部売上高	—	3,009	3,009	(3,009)	—
計	23,034	3,557	26,592	(3,009)	23,583
営 業 費 用	17,665	3,151	20,817	(2,973)	17,843
営 業 利 益	5,369	406	5,775	(35)	5,740

当第 3 四半期連結累計期間（自平成 21 年 4 月 1 日 至平成 21 年 12 月 31 日）

(単位：百万円)

	日本	インドネシア	計	消去又は全社	連結
売 上 高					
(1) 外部顧客に対する売上高	23,640	265	23,906	—	23,906
(2) セグメント間の内部売上高	—	2,964	2,964	(2,964)	—
計	23,640	3,230	26,871	(2,964)	23,906
営 業 費 用	17,826	2,756	20,582	(2,917)	17,664
営 業 利 益	5,814	474	6,289	(47)	6,241

【海外売上高】

前第 3 四半期連結累計期間（自平成 20 年 4 月 1 日 至平成 20 年 12 月 31 日）及び当第 3 四半期連結累計期間（自平成 21 年 4 月 1 日 至平成 21 年 12 月 31 日）

海外売上高は、連結売上高の 10%未満のため、記載は省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成 21 年 5 月 29 日開催の取締役会における自己株式の処分及び売出しに関する決議に基づき、自己株式の売出しを行いました。この結果、自己株式が 3,800 百万円、利益剰余金が 617 百万円それぞれ減少しております。

6. 生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

生産実績の事業の種類別セグメント情報の記載は、医療用消耗品等の製造・販売の単一事業でありますので省略しております。

なお、当第 3 四半期連結累計期間の生産実績を使用部署・用途・目的別に示すと、次のとおりであります。
(単位：百万円)

区 分	当第 3 四半期連結累計期間 〔 自 平成 21 年 4 月 1 日 至 平成 21 年 12 月 31 日 〕	前年同期比 (%)
滅菌用品類	2, 6 7 4	99.0
手術用品類	1 9, 5 0 9	102.9
治療用品類	1 5	89.1
その他の	3 6 7	55.1
合 計	2 2, 5 6 7	101.0

(注) 生産金額は、販売金額で表示しております。

(2) 商品仕入実績

商品仕入実績の事業の種類別セグメント情報の記載は、医療用消耗品等の製造・販売の単一事業でありますので省略しております。

なお、当第 3 四半期連結累計期間の商品仕入実績を使用部署・用途・目的別に示すと、次のとおりであります。

(単位：百万円)

区 分	当第 3 四半期連結累計期間 〔 自 平成 21 年 4 月 1 日 至 平成 21 年 12 月 31 日 〕	前年同期比 (%)
滅菌用品類	1 0 0	84.5
手術用品類	8 7 1	127.4
治療用品類	1 0 2	105.1
その他の	2 9 1	104.6
合 計	1, 3 6 6	115.8

(3) 受注実績

当社グループは見込み生産を行っているため、該当事項はありません。

(4) 販売実績

販売実績の事業の種類別セグメント情報の記載は、医療用消耗品等の製造・販売の単一事業でありますので省略しております。

なお、当第 3 四半期連結累計期間の販売実績を使用部署・用途・目的別に示すと、次のとおりであります。
(単位：百万円)

区 分	当第 3 四半期連結累計期間 〔 自 平成 21 年 4 月 1 日 至 平成 21 年 12 月 31 日 〕	前年同期比 (%)
滅菌用品類	2, 7 5 7	96.1
手術用品類	2 0, 2 0 6	103.6
治療用品類	1 9 8	96.5
その他の	7 4 3	73.6
合 計	2 3, 9 0 6	101.4